

(行政視察・**政務活動**・議員研修) 報告書

平成31年 2月19日

白石市議会議長 志村 新一郎 殿

議員氏名 佐藤 聡一

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成31年 2月 4日(月)～ 2月 5日(火)
調査・研修先	東京都立川市役所 自民党本部 衆議院第二議員会館 他
調査事項 (研修事項)	東京女子体育大学・東京女子短期大学との連携事業について 自民党本部訪問 予算委員会傍聴 西村代議士と情報交換
対応者・講師等	・立川市産業文化スポーツ部 スポーツ振興課長 久保 義彦 オリパラ室長 下河辺 康 スポーツ振興課長 石川 勝則 議会事務局次長 川瀬 成樹他
概要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	<p>・東京女子体育大学・東京女子短期大学との連携事業について</p> <p>白石市は柴田町及び柴田町にある仙台大学と共同で、2020年に開催される東京オリンピックに参加するベラルーシ共和国新体操チームの事前合宿を誘致した。そこで同様に大学との連携でスポーツに関連した事業を行っている東京都立川市へ研修に伺った。</p> <p>立川市では2013年の東京都国体開催時に東京女子体育大学と共同事業を行い、それをきっかけとして「東京女子体育大学・東京女子短期大学と立川市との連携・協力に関する連絡協議会」が設置され、現在も継続している。</p> <p>具体的な事業内容としては、市が行う事業への講師として、著名なオリンピックを派遣していただき、講座や実技指導を行っていたり、また学生をお祭りなど様々な事業へ派遣してもらい共同で事業を行っている。また、大学施設の貸しだしや見学など様々な連携を行っている。2020年の東京オリンピックへ向けては市民への特別講座や、オリンピックの事前キャンプ誘致施設視察など様々な事業を行っている。立川市では今後の課題として子供達への取り組みをあげていた。</p> <p>今後の課題としては、2020年の東京オリンピックをスポーツを広める好機とし、市民のスポーツに対する関心を継続していける</p>



ように、今後も連携・協力を継続していくことだと挙げておられた。

白石市においても、オリンピック後、ベラルーシとの友好、仙台大学との連携など、交流を深めていけるけば、将来への大きな財産となるのではないかと考える。

・自民党本部訪問 予算委員会傍聴 西村代議士と情報交換

2日目は自民党本部を訪問し、その後、衆議院第二議員会館での予算委員会傍聴及び西村代議士との情報交換、懇談を行った。